

<牧場の朝>

ただ一(いち)面(めん)に 立(た)ちこめた
牧(まき)場(ば)の朝(あさ)の 霧(きり)の海(うみ)

ポプラ並(なみ)木(き)の うっすりと
黒(くろ)い底(そこ)から 勇(いさ)ましく

鐘(かね)が鳴(な)る鳴(な)る
かんかんと

もう起(お)き出(だ)した
小(こ)舎(や)小(こ)舎(や)の
あたりに高(たか)い 人(ひと)の声(こえ)

霧(きり)に包(つつ)まれ あちこちに
動(うご)くひつじの 幾(いく)群(むれ)の

鈴(すず)が鳴(な)る鳴(な)る
りんりんと

今(いま)さし昇(のぼ)る 日(ひ)の影(かげ)に
夢(ゆめ)からさめた 森(もり)や山(やま)

あかい光(ひかり)に染(そ)められた
遠(とお)い野(の)末(ずえ)に 牧(ぼく)童(どう)の

笛(ふえ)が鳴(な)る鳴(な)る
ぴいぴいと